

福祉サービス第三者評価

受審終了証

法人名 社会福祉法人 大麻福祉の町
施設名 障害者支援施設 板東の丘

貴施設は社会福祉法人徳島県社会福祉協議会「評価機関評価実施手法に関する規程」及び「評価機関事業内容等に関する規程」に基づき評価事業が終了したことを証します。つきましては、貴施設の独自の取り組みについて、次のとおり総評します。

＜評価結果総評＞

○利用者の地域活動への積極的な参画と交流

スズムシやカブトムシの養殖・販売で培った技術を活用し、小学生向けの昆虫教室を定期的に開催している。小学校や公園等で昆虫教室の出前講座を開催したり、道の駅で生商品の販売を行ったりしており、利用者の社会参加に繋がっている。施設の専門的機能と利用者の社会参画の機会を相互に高めつつ、社会的役割の発揮へと繋がっていることは高く評価できる。

○利用者の自主的な暮らしの支援

利用者の“女子の会”と“男子の会”を組成し、それぞれの意見を把握するための機会を設けている。利用者の自治会もあり、頻繁に意見交換を行うなど活発に活動している。自治会担当職員を配置しており、ときには施設長も話しあいに参加するなど、利用者満足の向上を図るための仕組みを組織として機能させていることは高く評価できる。

○サービスの質の向上を図るための人事考課の実施

全職員を対象とした人事考課の仕組みを導入している。共通基準と職種別基準の2区分からなる考課基準となっており、成績考課と情意考課、能力考課の3要素を評価対象とし、主任級・課長級・管理者級が段階的に実施する人材育成型考課となっている。組織的にサービスの質の向上を図るための仕組みを稼働させ、実施していることは評価できる。

○災害時における利用者の安全確保に向けた広域的な取り組み

施設は山間部に位置しており、土砂や豪雨災害の被害を未然に防ぐため、周辺の危険箇所の把握と対策に努めている。年1回、同一法人の運営する他施設と合同で避難訓練を実施している。また、毎月、施設単独で日中と夜間を想定した避難訓練を重ねており、利用者や職員で災害時の円滑な避難に備えている。県内に所在する4法人間で、災害発生時の人的・物的支援等に関する“大規模災害時等における相互応援協定”を締結し、平時から協定者間で訓練や情報交換を行っている。立地条件等から災害の影響を把握し、広域の相互支援を含めて実行性の高い防災・避難への取り組みを実施していることは評価できる。

平成27年3月11日

＜評価機関＞

認証番号 第1号
社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
会長 岸 一郎

